

2023年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 プロダクトデザイン専攻											
デザイン実習 5											
対象	3 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	加賀 武見			実務 経験	有	職種	プロダクトデザイナー				
担当教員紹介											
担当教員は、商品開発の基本をミラノで習得し、商品の供給から販売までの業務に携わることで、デザインの役割を深く理解し、キャリアを積んだ後、企業と商品企画した経験を基に授業を展開している。											
授業概要											
この授業では、デザインの分野で重視されるテーマに取り組み、調査、分析、企画立案の一連の流れを実習を通して学ぶ授業です。講師からアドバイスで学びを深め、学生の「デザイン企画力」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「デザイン企画案」を自分自身の実践し、提案できるようになることを目指す。											
到達目標											
デザイン提案をプロセスから学び、調査分析から、コンセプト立案、デザインワーク、プレゼンテーションと問題解決型のデザイン手法で、検証を重ねながら提案します。プロダクトデザイナーの仕事を理解して、社会、環境の問題を考えたサスティナブルなデザイン力を向上させること、デザイナーとして考察を深めることを目標にしている。											
授業方法											
学生は、実践的な課題として、デザインの分野で重視されるテーマの企画を行い、提案に必要な資料やモデルを制作します。これから経験していく仕事の現場で、役に立つ企画書を実践的な実習から学び、理解し、身に着けるようになる。プロダクトデザインの「商品企画」に関連する調査分析、コンセプト、デザイン提案をまとめ、必要な能力を積極的に学び、実践することができるようになるのが狙いである。											
成績評価方法											
プレゼン	20%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
課題完成度	40%	提出課題完成度を総合的に評価する									
リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する									
平常点	20%	積極的な制作準備と過程を評価する									
履修上の注意											
この授業では、デザイン企画として学生に調査分析からデザイン企画提案の一連の流れを、実習を通して学びを作成します。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。											
教科書教材											
授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	「第1課題」 レクチャー：課題説明										
第2回	リサーチ：学校内調査										
第3回	検討：リサーチから検討										
第4回	データ作成										
第5回	データ作成										

2023年度 日本工学院専門学校	
デザイン科 プロダクトデザイン専攻	
デザイン実習 5	
第6回	まとめ：データ作成
第7回	発表：プレゼンテーション データ提出
第8回	「第2課題」 レクチャー：課題説明
第9回	アイデア検討：アイデア展開、ラフモデル製作、素材、機能、構成など仕様を決定
第10回	アイデア検討：アイデア展開、ラフモデル製作、素材、機能、構成など仕様を決定
第11回	中間チェック
第12回	モデル制作
第13回	モデル制作
第14回	モデル制作：プレゼンチェック
第15回	発表：プレゼンテーション データ提出